

第 1 1 7 期

事 業 報 告 書

(平成11年10月 1 日から)
(平成12年 9 月30日まで)

ホウライ株式会社

目 次

営 業 の 概 況

会 社 の 概 況

貸 借 対 照 表

損 益 計 算 書

利 益 処 分

役 員

— 会 社 の 概 要 —

設 立	昭和3年1月16日
資 本 金	43億4,055万円
本 店	東京都新宿区西新宿1丁目20番2号
従 業 員 数	303名（平成12年9月30日現在）

株 主 の 皆 様 へ

代表取締役社長 山 本 憲 男

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当社は平成12年9月30日をもって第117期の決算を行いましたので、その概況をご報告申し上げます。

I 営業の概況

1. 営業の経過および成果

当期のわが国経済は、民間企業設備投資など企業部門が回復基調となりましたが、個人消費支出など家計部門の低迷が続き、全般的に景気回復感に乏しいまま推移いたしました。

このような状況下でありながら、当社は各事業部とも意欲的に業務の改革と新施策に取り組み、大幅な増収増益を達成いたしました。特に営業利益は9期振りに黒字転換を果たしました。

また同時に、思い切った資産リストラを実施し、各種含み損をほぼ一掃し、連結欠損金も一掃し、資産内容の健全化を図りました。

以下、当期の具体的な業況につきまして、まず各事業部門別にご報告申し上げます。

(1) 保険事業部門

厳しい経済環境に加え、保険の自由化、規制緩和が本格化するなか、損害保険、生命保険とも新規基盤の拡充に注力いたしました結果、営業収益は1,279百万円（前期比168百万円増）、営業総利益は635百万円（前期比123百万円増）と大幅な増収・増益となりました。

(2) 不動産事業部門

資産リストラ関連で、新宿ハウライビルの賃貸部分を売却いたしました。同部分を一括賃借し従来通りの営業を継続いたしております。また、当該売却代金

等で別途、賃貸ビル3棟を購入したことにより賃貸収入が大幅に増加し、営業収益は1,174百万円（前期比272百万円増）となりました。一方、新宿ホウライビルの一括賃借料のほか、銀座ホウライビルの大規模改修工事に伴う費用増を主要因として、営業原価も増加いたしました。この結果、営業総利益は410百万円（前期比17百万円減）と減益となりました。

(3) 牧場事業部門および乳業事業部門

牧場事業部門では、乳質の向上と衛生管理に注力する一方、人件費、飼料費の削減に努めました。

乳業事業部門では、既存スーパー向けの販売落ち込みを、コンビニエンスストア向けの販売増や新製品300cc牛乳の拡販等により営業収益を維持する一方、製造面・販売面とも省力化・合理化を積極的に推進し、営業原価の削減に努めました。その結果、牧場・乳業合算で、営業収益は756百万円（前期比37百万円増）となり、営業総損失は157百万円（前期比45百万円減）と改善いたしました。

(4) サービス事業部門

一昨年的那須地方集中豪雨の後遺症を克服し、営業収益は1,411百万円（前期比12百万円増）と増収となりましたが、手づくり体験館の新設等に伴う減価償却費等の増加により、営業原価が増加し、営業総利益は195百万円（前期比13百万円減）と減益となりました。

(5) 碎石事業部門

官・民向けとも売上不振かつ値崩れが著しいなか、那須地方激甚災害復旧工事に伴う生コン向け骨材の出荷増により、営業収益は349百万円と前期並みを維持いたしました。営業総利益は、工場渡し増加に伴う運賃減など営業原価減により、118百万円（前期比4百万円増）と増益となりました。

(6) ゴルフ事業部門

平成12年6～7月に開催した日本ゴルフツアー機構主催のプロゴルフトーナメント「TPCイーヤマカップ」の集客効果もあり、来場者数は約5万名と過去最高を記録いたしました。この結果、営業収益は1,124百万円（前期比76百万円増）と増収となりました。

一方、コース改善などに伴う物件費増により、営業原価も増加いたしましたが、営業総損失は610百万円（前期比28百万円減）と改善いたしました。

以上総括いたしまして、当社全体の営業収益は、保険、不動産、ゴルフを主体に全事業部門で増加し、6,095百万円（前期比567百万円増）となりました。

一方、営業原価の抑制と削減に努め、営業総利益は593百万円（前期比170百万円増）と増益となりました。

また、役員報酬の削減等一般管理費の削減にも努めました結果、営業利益は76百万円（前期比174百万円改善）と9期振りに黒字に転換いたしました。

経常利益は、保険積立金配当金等の反落により営業外収益が減少いたしました、243百万円（前期比17百万円増）となりました。

そして、冒頭で触れました資産リストラの実施により、新宿ホウライビルの賃貸部分の売却益2,233百万円等を特別利益に計上し、有価証券・使用方針見直しにより発生した遊休設備・適格年金過去勤務債務等の含み損を特別損失で処理し、資産内容の健全化を図りました。

この結果、当期利益は159百万円（前期比98百万円増）と大幅増益となりました。

2. 会社が対処すべき課題

(1) 保険事業部門

銀行による保険商品の窓販、従来の垣根を超えた保険業界並びに銀行業界の再編等先行き予断の許されない情勢下にあって、いかなる環境変化も大きなビジネスチャンスと捉え、更なる飛躍をいたすべく、対応に万全を期し、業績伸展に努力する所存でございます。

(2) 不動産事業部門

本社ビルではさくら銀行の退室に備え、銀座ビルは改修工事完成を踏まえ、新規テナントの誘致に全力をあげ、ビル管理に万全を期し、満室と適正な賃料水準の確保に傾注する所存でございます。

(3) 牧場事業部門および乳業事業部門

牧場事業部門では、乳牛の生産性を向上させることで更に効率的な牧場運営を目指すとともに、遺伝子組替をしていない飼料に切替えることによって原乳の差別化を実現する所存でございます。

また、乳業事業部門では、生産面では引き続き安全で良質な製品の供給に努め、コストの削減に努力すると共に、消費者のニーズにあった製品づくりを目指す所存でございます。

販売面におきましては、効率の良い取引先の開拓、贈答品の販売増に努め、引き続き営業収益の増強に努力してまいります。

(4) サービス事業部門

千本松牧場の知名度の一層の向上と、前期新設・移設拡充いたしました手づくり体験館・動物ふれあい広場の PR に努め、営業収益の増強を図ってまいります。

(5) 碎石事業部門

業界を取り巻く環境は引き続き厳しいなか、一層の経費削減に努め、業績の安定を図る所存でございます。

(6) ゴルフ事業部門

ハウライ・西那須野の両ゴルフ場共に、戦略性の高い美しいコースとして評価を高めております。今後も一層の集客力増強を図るとともに、ハード・ソフト両面で満足度の高いゴルフ場造りと合理化を推進し、一層の損失圧縮に努める所存でございます。

以上当社といたしましては、各事業部門とも創意工夫と改革に注力し、一層の業績伸展に努力してまいります所存でございます。

株主の皆様におかれましては引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

3. 設備投資の状況

当期は、サービス事業部門の手づくり体験館、不動産事業部門の銀座ホウライビル改修工事等建設関連で688百万円、さくら池袋ビル・さくら巣鴨ビル・さくら五反田ビルの購入関連で5,873百万円、総額6,561百万円の設備投資を行いました。

4. 資金調達の状況

上記設備資金は、自己資金および新宿ホウライビルの賃貸部分を売却した代金をもって充当いたしました。特記すべき資金調達はありません。

5. 営業成績および財産の状況の推移

区 分 \ 年 度	第114期	第115期	第116期	第117期
	平成9年9月期	平成10年9月期	平成11年9月期	平成12年9月期
営 業 収 益 (百万円)	5,673	5,632	5,528	6,095
経 常 利 益 (百万円)	96	115	225	243
当 期 利 益 (百万円)	26	109	61	159
1株当たり当期利益(円)	1.89	7.82	4.37	11.36
総 資 産 (百万円)	35,089	34,655	34,099	34,059
純 資 産 (百万円)	10,600	10,668	10,688	10,908

(注) 1株当たり当期利益は、平均発行済株式総数により算出しております。

II 会社の概況（平成12年9月30日現在）

1. 主要な事業内容

当社は次のとおり、保険、不動産、牧場、乳業、サービス、碎石、ゴルフの7事業を営んでおります。

部 門 名	事 業 内 容
(1) 保 険 事 業 部 門 ①損保代理店 ②生保代理店	火災、自動車等総合損害保険代理店業務 終身、定期およびがん保険を主とする生命保険代理店業務
(2) 不 動 産 事 業 部 門	ビル、不動産賃貸管理
(3) 牧 場 事 業 部 門	乳牛の飼育、搾乳、飼料生産
(4) 乳 業 事 業 部 門	乳製品（牛乳・ヨーグルト・ナチュラルチーズ・アイスクリーム等）製造販売
(5) サービス事業部門	カフェテリアレストラン、ジンギスカン食堂、スポーツ施設、遊園地経営
(6) 砕 石 事 業 部 門	砂、砂利、碎石等の生産販売
(7) ゴルフ事業部門	ゴルフ場（ホウライカントリー倶楽部および西那須野カントリー倶楽部）経営

2. 主要な営業所および工場

○本 店：東京都新宿区西新宿1丁目20番2号

- 営業所：本社（新宿ホウライ）ビル、東京保険部（東京都新宿区）
銀座ホウライビル（東京都中央区）
さくら池袋ビル（東京都豊島区）
さくら巣鴨ビル（東京都豊島区）
さくら五反田ビル（東京都品川区）
横 浜 支 店（横 浜 市）
名 古 屋 支 店（名 古 屋 市）
大 阪 支 店（大 阪 市）
福 岡 支 店（福 岡 市）
千本松事務所、千本松カフェテリア、那須レストハウス、
ホウライカントリー倶楽部、西那須野カントリー倶楽部
（栃木県那須郡西那須野町）
- 工 場：那須乳業工場、碎石西那須工場（栃木県那須郡西那須野町）
- 牧 場：千本松牧場（栃木県那須郡西那須野町）

3. 株式の状況

- (1) 会社が発行する株式の総数 37,200,000株
- (2) 発行済株式の総数 14,040,000株
- (3) 当期末株主数 1,042名（前期比増減0）
- (4) 大 株 主

株 主 名	当社への出資状況		当社の当該株主への出資状況	
	持株数	持株比率	持株数	持株比率
室町ビルサービス株式会社	2,024 千株	14.41 %	—— 千株	—— %
室 町 殖 産 株 式 会 社	1,421	10.12	——	——
三 井 物 産 株 式 会 社	900	6.41	33	0.00
株式会社さくら銀行	702	5.00	464	0.01
株 式 会 社 テ イ ソ ウ	601	4.28	239	19.91
ハウライ従業員持株会	498	3.55	——	——
渡 邊 牧 太 郎	290	2.06	——	——
三井生命保険相互会社	290	2.06	——	——
中央三井信託銀行株式会社	260	1.85	15	0.00
三井海上火災保険株式会社	260	1.85	50	0.00

(注)1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。

2. 持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

3. 株式会社さくら銀行への出資状況における持株比率については、同行発行の議決権のない優先株式を除いて算出しております。

4. 企業結合の状況

企業結合の経過および成果

千本松興産株式会社（連結子会社）は所有していた不動産を全て第三者へ売却いたしました。この結果、当期の連結営業収益は6,094百万円となり、また、連結上消去しておりました未実現利益が実現したことにより、連結当期利益は3,078百万円となりました。この結果、前期末の連結欠損金2,635百万円は解消されました。

なお、千本松興産株式会社は平成12年9月に清算いたしました。

5. 従業員の状況

区 分	従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
男 子	183 名	1 名減	44 歳 7 月	10 年 7 月
女 子	120 名	7 名減	41 歳 0 月	10 年 1 月
合計または平均	303 名	8 名減	43 歳 2 月	10 年 5 月

(注) 従業員数には、パートタイマー（1日8時間換算59名）、嘱託および顧問（19名）、計78名は含まれておりません。

6. 取締役および監査役

会社における 地 位	氏 名	担当または主な職業
代表取締役社長	山 本 憲 男	
常務取締役	横 井 晃	総合企画部長兼不動産事業本部長
常務取締役	松 岡 勲	総務部長兼千本松事務所長
取 締 役	村 田 正	碎石事業本部長兼西那須工場長
取 締 役	笛 木 三 男	ゴルフ事業本部長
取 締 役	轟 基 成	総合企画部副部長兼千本松事務所副所長
取 締 役	石 原 軍	保険事業本部長兼東京保険部長兼名古屋支店長
取 締 役	佐 藤 憲 一	サービス事業本部長
取 締 役	山 田 彰	牧場事業本部長兼乳業事業本部長
取 締 役	細 竹 忠 行	保険事業本部大阪支店長兼大阪支店生保部長
取 締 役	酒 井 勝 彦	人事部長
取 締 役	杉 浦 祥 夫	
常勤監査役	※早 崎 勝 弘	
常勤監査役	※立 岩 寛 吾	
常勤監査役	深 津 光 男	
監 査 役	※森 山 道 宏	株式会社治コンサルタント代表取締役副社長

(注)1. ※印の監査役は、平成11年12月21日開催の定時株主総会において新たに選任され就任いたしました。

2. 常勤監査役立岩寛吾氏および監査役森山道宏氏は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

3. 平成12年10月1日付をもって、下記のとおり担当の変更を行いました。

氏 名	新 担 当	旧 担 当
取締役 轟 基 成	取締役	取締役総合企画部副部長兼 千本松事務所副所長

4. 平成12年12月1日付をもって、下記のとおり担当の変更を行いました。

氏 名	新 担 当	旧 担 当
取締役 石 原 軍	取締役保険事業 本部長兼東京保険 部長	取締役保険事業本部長兼東 京保険部長兼名古屋支店長

5. 当期中に退任した監査役

退任時の会社 における地位	氏 名	退 任 日
常勤監査役	鷲 尾 貫 兮	平成11年12月21日退任
常勤監査役	中 野 繁	平成11年12月21日退任
監 査 役	中 村 芳 雄	平成11年12月21日退任

7. 決算期後に生じた会社の状況に関する重要な事実

特記すべき事項はありません。

(注)1. 本営業報告書中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 営業収益等の記載金額には、消費税等は含まれておりません。

貸 借 対 照 表

(平成12年 9 月30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
【流動資産】	[4,933,538]	【流動負債】	[1,092,676]
現金及び預金	3,257,283	買掛金	72,127
受取手形	54,858	未払金	3,965
売掛金	318,025	未払法人税等	22,996
有価証券	901,354	未払費用	181,314
商製品	26,540	前受金	71,556
製製品	108,984	保険会社勘定	612,557
半製品	52,724	預り金	41,575
原材料	22,702	賞与引当金	86,583
仕掛品	19,009		
貯蔵品	37,246		
前払費用	66,281	【固定負債】	[22,058,195]
繰延税金資産	15,548	預り保証金	22,058,195
その他の	54,163	負債の部合計	23,150,872
貸倒引当金	△1,185		
【固定資産】	[29,125,840]	(資本の部)	
(有形固定資産)	(23,099,600)	【資本金】	[4,340,550]
建物	8,378,405	【法定準備金】	[6,180,183]
構築物	2,627,334	資本準備金	6,064,113
機械装置	349,464	利益準備金	116,070
車両運搬具	45,904	【剰余金】	[387,772]
工具器具備品	532,805	当期末処分利益	387,772
乳牛	128,984	(うち当期利益)	(159,515)
土地	4,833,051	資本の部合計	10,908,506
コース勘定	6,094,038		
立木	39,972		
建設仮勘定	69,639		
(無形固定資産)	(87,074)		
ソフトウェア	33,635		
水道施設利用権	41,083		
その他	12,356		
(投資等)	(5,939,165)		
投資有価証券	2,365,079		
出資金	201,142		
長期前払費用	60,673		
繰延税金資産	22,962		
長期特定金銭信託	497,577		
保険積立金	2,702,084		
その他	89,645		
資産の部合計	34,059,378	負債及び資本の部合計	34,059,378

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

損 益 計 算 書

(自 平成11年10月1日)
(至 平成12年9月30日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
(経常損益の部)		
【営業損益の部】		
営 業 収 益		6,095,701
営 業 原 価	5,501,920	
一 般 管 理 費	517,768	6,019,688
営 業 利 益		76,012
【営業外損益の部】		
営 業 外 収 益		220,897
受 取 利 息 及 び 配 当 金	37,892	
保 険 積 立 金 配 当 金	46,823	
会 員 権 償 却 益	98,575	
そ の 他	37,606	
営 業 外 費 用		53,842
乳 牛 除 売 却 損	17,151	
投 資 事 業 組 合 管 理 費	28,080	
そ の 他	8,611	
経 常 利 益		243,068
(特別損益の部)		
特 別 利 益		2,484,056
前 期 損 益 修 正 益	19,100	
固 定 資 産 売 却 益	2,452,539	
投 資 有 価 証 券 売 却 益	12,417	
特 別 損 失		2,463,243
固 定 資 産 除 売 却 損	89,931	
投 資 有 価 証 券 売 却 損	1,370,092	
有 価 証 券 売 却 損	293,252	
子 会 社 整 理 損	227,575	
不 動 産 取 得 税 等	206,221	
環 境 整 備 費	81,722	
役 員 退 職 慰 労 金	16,140	
適 格 年 金 過 去 勤 務 債 務 掛 金	118,802	
そ の 他	59,504	
税 引 前 当 期 利 益		263,881
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	40,202	
法 人 税 等 調 整 額	64,163	104,365
当 期 繰 越 利 益		159,515
前 期 繰 越 利 益		125,582
過 年 度 税 効 果 調 整 額		102,674
当 期 未 処 分 利 益		387,772

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

注記事項

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

①取引所の相場のある有価証券

(流動資産) 有 価 証 券 移動平均法による低価法(洗替え方式)

(固定資産) 投資有価証券 移動平均法による原価法

②その他の有価証券

移動平均法による原価法

なお、特定金銭信託等の評価基準および評価方法はバスケット方式低価法を採用しております。

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

製品、半製品、仕掛品、原材料の一部

総平均法による原価法

(主に、那須乳業工場のもの)

商品、貯蔵品、上記以外の原材料

最終仕入原価法

(3) 固定資産の減価償却方法

有形固定資産 ゴルフ事業部の建物・構築物

法人税法の規定に基づく定額法

ゴルフ事業部以外の建物(建物附属設備を除く)

法人税法の規定に基づく定額法

乳 牛

法人税法の規定に基づく定額法

そ の 他

法人税法の規定に基づく定率法

無形固定資産 法人税法の規定に基づく定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

(4) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理方法によっております。

(5) 重要な引当金の計上基準

貸 倒 引 当 金

債権の貸倒による損失に備えるため、法人税法に定める法定繰入率に基づく限度相当額その他、個別債権の回収不能見込額を計上しております。

賞 与 引 当 金

従業員賞与の支給に充てるため、支給見込額に基づき計上しております。

(6) 適格退職年金制度

平成元年9月1日から従業員退職金の全部について適格退職年金制度を採用しております。

平成12年9月30日現在の過去勤務費用の現在高

119,314千円

過去勤務費用の償却方法

年率50%の定率法

なお、適格退職年金制度については、過去勤務費用の早期償却による財務体質の健全化を図るため、以下の契約変更を行いました。

(予定利率)

年率5.5%から年率3.5%に変更

(過去勤務費用の償却方法)

10年間の定額法償却から年率50%の定率法償却に変更

(7) 消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は税抜方式によっております。

(追加情報)

自社利用ソフトウェア

前期まで投資等の「長期前払費用」に計上していた自社利用のソフトウェアについては「研究開発費及びソフトウェアの会計処理に関する実務指針」における経過措置の適用により、従来の会計処理方法を継続適用しております。ただし、同報告により上記に係るソフトウェアの表示については、投資等の「長期前払費用」から無形固定資産の「ソフトウェア」に変更し、減価償却の方法については、社内における見込利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

税効果会計について

当期から税効果会計を適用しております。これにより税効果会計を適用しない場合と比べ、繰延税金資産38,511千円(流動資産15,548千円、投資等22,962千円)が新たに計上されるとともに、当期利益は64,163千円少なく、当期末処分利益は38,511千円多く計上されております。

2. 貸借対照表関係注記

- (1) 有価証券には自己株式102千円が含まれております。
- (2) 有形固定資産の減価償却累計額 9,398,801千円
- (3) 貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している固定資産としてゴルフ場管理機器などがあります。
- (4) 保証債務

①西那須野カントリー倶楽部入会者のゴルフローンに対し次のとおり債務保証を行っております。

西那須野カントリー倶楽部	被保証会員28名	161,724千円
--------------	----------	-----------

②ハウライ(株)互助会の(株)さくら銀行からの借入債務に対する保証を行っております。

3,934千円

- (5) 1株当たり当期利益 11円36銭
- (6) 期末日が満期手形の会計処理は、手形交換日をもって決済処理しております。
なお、当期末日が金融機関の休日であったため、次の期末日満期手形が期末残高に含まれております。

受取手形	6,600千円
------	---------

3. 損益計算書関係注記

子会社との取引高

①営業取引高

営業収益	1,528千円
------	---------

営業原価	79,384千円
------	----------

②営業取引以外の取引高

雑収入	600千円
-----	-------

利 益 処 分

(単位：円)

科 目	金 額
当 期 未 処 分 利 益	387,772,847
これを次のとおり処分いたします	
利 益 準 備 金	4,211,930
配 当 金	42,119,301
(1株につき3円)	
次 期 繰 越 利 益	341,441,616

役 員

定時株主総会終了後の取締役会および監査役の互選により下記のとおり選任なら
びに委嘱され、それぞれ就任いたしました。

代表取締役社長	山 本 憲 男
常 務 取 締 役 〔 牧場・乳業・サービス 各事業本部責任役員 〕	横 井 晃
常 務 取 締 役 〔 碎石・ゴルフ各事業本部、千本松 事務所責任役員兼ゴルフ事業本部 長兼千本松事務所長 〕	松 岡 勲
取 締 役 (保険事業本部長兼東京保険部長)	石 原 軍
取 締 役 (不動産事業本部長)	佐 藤 憲 一
取 締 役 (牧場事業本部長兼乳業事業本部長)	山 田 彰
取 締 役 (保険事業本部大阪支店長兼大阪支店生保部長)	細 竹 忠 行
取 締 役 (総務部長兼人事部長)	酒 井 勝 彦
取 締 役 (総合企画部長兼経理部長)	大河内 英 教
常 勤 監 査 役	立 岩 寛 吾
常 勤 監 査 役	深 津 光 男
監 査 役	森 山 道 宏
監 査 役	古 舘 昭

(平成12年12月22日現在)